

黒財部

類彙抄

第八

544
ル
10

0 150 cm 100 90 80 70 60 50 40 30 20 10 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

SEKISUI JUSHI

類葉抄

黒財部

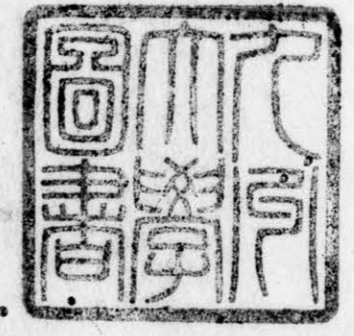
第十八



544
ル
10

自今古... 不銷... 子... 錢... 官... 席... 前... 錄... 會... 針... 標... 的... 針...

照錄



Vertical text on the right side, including characters like 德, 業, 林, 泉, 八.

竒 人 座 枕 木 鞞 楸 弓 鎰 鐘 寶
官 串 簾 席 幣 香 旗 箭 鏢 鈴 玉

器財部

積 櫛 貫 疊 殺 冠 懂 鞞 鏡 鏡 金

板 匱 裝 簷 四 鈿 梓 鞞 鏢 針 銀

棚 室 葉 標 梓 釵 的 斧 釘 鐵

雜錄抄第十八

器財

寶

寶者... 寶者... 寶者...

價無... 價無... 價無...

多可... 多可... 多可...

貴人之... 貴人之... 貴人之...

寶之... 寶之... 寶之...

自... 自... 自...

玉有... 玉有... 玉有...

人言... 人言... 人言...

十一 玉緒長春日平 上下句在

十二 玉緒之長命の情 上下句在

十三 玉緒之長と君の言 上下句在

十四 玉緒之念乱 上下句在

十五 玉緒之不絶 上下句在

十六 玉緒乃絶て乱 上下句在

十七 玉緒之絶有 上下句在

十八 玉緒之絶命 上下句在

十九 玉緒之絶命別 上下句在

二十 玉緒用 上下句在

二十一 玉緒と序緒 上下句在

十二

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

上下句在

十一 玉緒之 久乗 末終去 不別 同緒將有

十二 玉緒之 意 年 行 及 婦 あり

十三 玉緒之 間 不置 ん あり

十四 玉緒乃 波 心 武 十 梶 櫓 在

十五 玉緒之 絶 而 離 云

十六 中 下 あり ま あり ま あり ま あり

十七 珠緒之 惜 感 命

十八 真 珠 緒 絶 為 小 一 國 一 放 不 其 緒 漫 貴 吾 也

十九 白 玉 緒 絶 信 離 然 其 緒 又 貴 人 持 ま たり

二十 始 春 乃 一 緒 乃 守 あ たり

二十一

十一 念人... 珠布
 十二 念人... 珠布
 十三 念人... 珠布
 十四 念人... 珠布
 十五 念人... 珠布
 十六 念人... 珠布
 十七 念人... 珠布
 十八 念人... 珠布
 十九 念人... 珠布
 二十 念人... 珠布
 二十一 念人... 珠布
 二十二 念人... 珠布
 二十三 念人... 珠布
 二十四 念人... 珠布
 二十五 念人... 珠布
 二十六 念人... 珠布
 二十七 念人... 珠布
 二十八 念人... 珠布
 二十九 念人... 珠布
 三十 念人... 珠布

三十一 奥原... 珠流
 三十二 奥原... 珠流
 三十三 奥原... 珠流
 三十四 奥原... 珠流
 三十五 奥原... 珠流
 三十六 奥原... 珠流
 三十七 奥原... 珠流
 三十八 奥原... 珠流
 三十九 奥原... 珠流
 四十 奥原... 珠流
 四十一 奥原... 珠流
 四十二 奥原... 珠流
 四十三 奥原... 珠流
 四十四 奥原... 珠流
 四十五 奥原... 珠流
 四十六 奥原... 珠流
 四十七 奥原... 珠流
 四十八 奥原... 珠流
 四十九 奥原... 珠流
 五十 奥原... 珠流

十五 海神持在皇見終千遍告潜為海子
 十六 布織凡此...
 十七 海神持在皇見終千遍告潜為海子
 十八 底清沉有玉平欲見千遍不卷潜下白水
 十九 紫乃...
 二十 水底の...
 二十一 水底小沉白玉誰故心盡而吾不念小
 二十二 海底沉白玉風吹而海維荒不取ハ不止
 二十三 淡海...
 二十四 淡海...
 二十五 淡海...

十九 廣...
 二十 玉...
 二十一 孫...
 二十二 梓...
 二十三 前...
 二十四 白...
 二十五 水...
 二十六 雲...
 二十七 玉...
 二十八 玉...
 二十九 玉...

十六 久堅の... 津在... 似しん

十七 昔うのけ... 天傳... 自か言のラウリヤサヤ

十八 白... 夷... 在

十九 ... 在

二十 ... 在

二十一 ... 在

二十二 ... 在

金

二十三 銀... 在

二十四 ... 在

銀

二十五 銀... 在

鐵

二十六 ... 在

鐘

二十七 ... 在

九 真十鏡直月余不視ハ

十 真十鏡見名例ハ今口

十一 真十鏡

十二 真鏡床重不主

十三 真鏡手小取以朝

十四 真十鏡取指手朝

十五 真祖鏡雖見言哉

十六 真素鏡直の

十七 真十鏡西彩不主

十八 大馬鏡月小たふ

十九 大馬鏡此あむ

下句在

下句在

下句在

上句在

又十九卷真鏡

時之志

不正年

上句在

上句在

上句在

上句在

十三 大馬鏡正月君辛相見天者社

十四 大馬鏡追馬鏡

十五 真十鏡直月小君

十六 真十鏡見

十七 白銅鏡

十八 母之形

十九 清鏡雖持

二十 真十鏡取雙

二十一 吾月良ハ

二十二 鏡能登

二十三 鏡能登

二十四 鏡能登

二十五 鏡能登

二十六 鏡能登

二十七 鏡能登

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

下句在

三十一 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十二 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十三 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十四 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

針

三十五 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十六 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十七 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十八 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

三十九 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

註入云々

針

四十一 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十二 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十三 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十四 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十五 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十六 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

鎌

四十七 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

四十八 伊礼の鏡と鑑 可賀 今在山難部

十 白檀弓今春山よ去雲々ノ トウ在

十一 白檀石邊山 トウ在 余ア

十二 白檀穀飯負而 モク

十三 仇部由及辛多分伎利 トウ在

十四 仇豆人之弓月我高行 トウ在

十五 肉 トウ在

十六 陸奥 トウ在

十七 葛木之其津 トウ在

十八 本國之昔 トウ在

十九 梓弓 トウ在

二十 伊 トウ在

おしあてのしるし...
伊年 枕言イラトシラフミヤ
わしあてのしるし...
自由

一三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

三三 矢中 在
大史之得物矢年 揮立向
註尺云のり...
其の...
二二 矢中 在

様

玉様の道 けつ三十餘首在道ア
玉様の道 玉様の道とつらつら申す天義在道ア

玉様の道 玉様の道とつらつら申す天義在道ア

八千太郎神自御世之様 下夕在

池神力士傳りし白鷺乃様 下夕在

池神力士傳りし白鷺乃様 下夕在

劔

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

劔 一多ハキノタフシ
劔 一多ハキノタフシ

豊後守の御書に云く...
調子...
...

十六 帝小京古居と誠の青剛小紋龍もそこの劔刀七々

十七 帝御書多知と藤...
...

十八 帝御書...
...

十九 高藤劔...
...

二十 焼大方乃...
...

二十一 焼刀之加度...
...

二十二 焼刀乃平頼...
...

二十三 焼刀乃平頼...
...

二十四 焼刀乃平頼...
...

二十五 焼刀乃平頼...
...

二十六 焼刀乃平頼...
...

二十七 焼刀乃平頼...
...

二十八 焼刀乃平頼...
...

二十九 焼刀乃平頼...
...

三十 焼刀乃平頼...
...

三十一 焼刀乃平頼...
...

三十二 焼刀乃平頼...
...

三十三 焼刀乃平頼...
...

三十四 焼刀乃平頼...
...

三十五 焼刀乃平頼...
...

三十六 焼刀乃平頼...
...

三十七 焼刀乃平頼...
...

三十八 焼刀乃平頼...
...

三十九 焼刀乃平頼...
...

四十 焼刀乃平頼...
...

四十一 焼刀乃平頼...
...

四十二 焼刀乃平頼...
...

十四 幸も乃らるもれうてし ナク長 ありしはてえゆさるるなり

十五 ありしはてえゆさるるなり 下句在

十六 ありしはてえゆさるるなり 下句在

十七 ありしはてえゆさるるなり 下句在

十八 ありしはてえゆさるるなり 下句在

十九 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十一 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十二 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十三 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十四 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十五 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十六 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十七 ありしはてえゆさるるなり 下句在

二十八 ありしはてえゆさるるなり 下句在

席

十一 獨寢し菱柄り アヤハシ 綾席緒小成 ナ 君 ミコ 将侍 シヤウジ

十二 玉文之道行疲伊奈武思侶敷 イナ 色君 イロミコ 手将 テシヤウジ 見因 ミイ 毛 モ 鴨 カモ

畳

九 音疊 ネナヒ 三重乃河原之磯裏 ミヘノカワラノイソウラ 下句在鴨ア

十 畳 タタミ 薄 ウス 隔 カキ 編 アミ 敷 キ 通 トウ 下句在

十一 畳 タタミ 重 オモシ 編 アミ 敷 キ 夢 ユメ 上句在

十二 畳 タタミ 平 ヒラ 群 グン 乃 ノ 阿 ア 着 キ 下句在

十三 其 ソノ 皮 カ と ト 多 タ 小 コ 刺 サシ 八 ヤチ 重 オモシ 乃 ノ 平 ヒラ 群 グン 乃 ノ 小 コ 其 ソノ 皮 カ 乃 ノ 席 シヤ 皮 カ

十四 簾 シデ 相 アイ 夫 ハツ 之 ノ 似 ニ 在 アル 下句在

十五 新 アラタ 簾 シデ 此 コノ 一 ヒト 重 オモシ 乃 ノ 阿 ア 着 キ 下句在

十六 獨 トク 寐 ネ 乃 ノ 菱 ヒシ 柄 カ 乃 ノ 後 ノチ 席 シヤ 下句在

十七 其 ソノ 簾 シデ 編 アミ 敷 キ 通 トウ 者 モノ 道 ミチ 之 ノ 芝 シ 草 カ 不 ズ 生 ハ 有 リ 申 シ 尾 ビ

十八 其 ソノ 簾 シデ 重 オモシ 編 アミ 敷 キ 乃 ノ 入 ル 下句在

十九 借 カ 簾 シデ の ノ 心 ココロ 志 シ の ノ 小 コ 下句在

二十 其 ソノ 破 ヤ 簾 シデ 乃 ノ 終 ハ 下句在

十六 食膳敷草菁者モトコ標ラツハリ行トウ鷹ア

十七 鳥トリ之ノ鳴ネ也ヤ

十八 鳥トリ之ノ鳴ネ也ヤ 十九 鳥トリ之ノ鳴ネ也ヤ

二十 直ナ小コ葉エフ解トキ敷キ而シテ也ヤ

座

二十一 春日カサハラ之ノ高タカ座ザ之ノ御ミ坐イ乃ノ也ヤ

二十二 御座ミザ給タマフ

二十三 高御座タカミザ也ヤ麻アサ能ノ日ヒ繼ツギ登ト也ヤ

簾

二十四 玉タマ之ノ裁タテ乃ノ大オホ野ノ之ノ也ヤ

二十五 玉タマ之ノ裁タテ乃ノ大オホ野ノ之ノ也ヤ

二十六 玉タマ之ノ裁タテ乃ノ大オホ野ノ之ノ也ヤ

二十七 玉タマ之ノ裁タテ乃ノ大オホ野ノ之ノ也ヤ

二十八 玉タマ之ノ裁タテ乃ノ大オホ野ノ之ノ也ヤ

二十九 玉タマ之ノ裁タテ乃ノ大オホ野ノ之ノ也ヤ

貫

三十 古コ今イマ之ノ令ノ食シ者ヲ脩シ能ク酒サケ痛イタ為シ便ニ貫ス貫ス賜ル半ニ

表

三十一 久キウ世セ乃ノ雨アメ零リ日ヒ乎カ我ガ日ヒ表ヒ蓋カ不レ表ス而シテ有ル人ト哉ヤ誰ト

皇

三十二 久キウ世セ乃ノ雨アメ零リ日ヒ乎カ我ガ日ヒ表ヒ蓋カ不レ表ス而シテ有ル人ト哉ヤ誰ト

三十三 久キウ世セ乃ノ雨アメ零リ日ヒ乎カ我ガ日ヒ表ヒ蓋カ不レ表ス而シテ有ル人ト哉ヤ誰ト

三十四 久キウ世セ乃ノ雨アメ零リ日ヒ乎カ我ガ日ヒ表ヒ蓋カ不レ表ス而シテ有ル人ト哉ヤ誰ト

ハカキニ
皇之御笠乃此秋高来
下ノ在

王之御笠は健有在
下ノ在

橋立倉持川行静菅余初笠裳不編川静菅
建

笠無とよの言て取付見
君

笠乃借平
告

註入
註入

真跡池之小菅平
可立物

人跡の笠は健有在
可立物

神を笠は着ぬ
可立物

久登乃
可立物

海神を破蓋
可立物

長角ハ
可立物

九
可立物

皇之御笠乃此秋高来
王之御笠は健有在
橋立倉持川行静菅余初笠裳不編川静菅
笠無とよの言て取付見
笠乃借平
註入
真跡池之小菅平
人跡の笠は健有在
神を笠は着ぬ
久登乃
海神を破蓋
長角ハ
九

九シロヨロヨミ 完串呂黃泉の將清

註入... 肉... 銀ノ古語

串

五十串立神酒座奉神王部之雲聚王座身者是文

註入... 教の... 串

櫛

然之海人軍布刃塩焼無髮梳乃小櫛取毛見之小

と... 珠篋有玉櫛乃神... 小櫛取毛見之小

と... 織枚上と真櫛用櫛上と... 櫛取毛見之小

君... 奈何身將裝飾更有黃楊之小梳將取之不容

朝月日向黃楊櫛雖舊行然不見不飽

日本之黃楊乃小櫛字抑刺 月日大和國日本...

十九ッケ小櫛志... 生而靡有... 成ト心也

と... 後... 黃楊小櫛生更生而靡... 也

佛... 髪... 櫛持... 也

原... 遠... 櫛造... 也

梳... 見... 櫛... 也

速

二 玉匣覆字女義... 而行者君名者雖有各名之指毛

玉匣得見圓山の後名其仇不寐者速余有勝麻衣目

秋津... 神振... 珠匣... 速... 也

長... 速... 有... 也

と... 珠篋有... 櫛乃... 也

盃

三 一坏乃湯酒也
トホク在酒ア
杉在酒ア

七 佳加豆及能倍尔

八 酒坏は梅花酒念共飲而後の辰去し

九 思遣為便乃不知ハ行境之邊ア音ハ忘ラレ

十 産 中少人ト有ハ酒事ハ成而し

十一 瓶 酒年ハ内雲坪ハ耳ハ席の事

十二 齊 齊ナト志穿牙

十三 花邊小齊ナ辛片

十四 齊 齊ナ辛片

十五 齊 齊ナ辛片

十六 齊 齊ナ辛片

十七 齊 齊ナ辛片

十八 齊 齊ナ辛片

十九 齊 齊ナ辛片

二十 齊 齊ナ辛片

二十一 齊 齊ナ辛片

二十二 齊 齊ナ辛片

二十三 齊 齊ナ辛片

二十四 齊 齊ナ辛片

二十五 齊 齊ナ辛片

二十六 齊 齊ナ辛片

二十七 齊 齊ナ辛片

二十八 齊 齊ナ辛片

二十九 齊 齊ナ辛片

三十 齊 齊ナ辛片

三十一 齊 齊ナ辛片

三十二 齊 齊ナ辛片

三十三 齊 齊ナ辛片

三十四 齊 齊ナ辛片

三十五 齊 齊ナ辛片

三十六 齊 齊ナ辛片

三十七 齊 齊ナ辛片

一 羅波人韋火燄タケノコ屋ヤくすまシ己書シ常トキるシ一
 二 とき取トわりの燭火タケノコ火カぶル人ヒト故コトらクこノこノり
 三 志シ乃ノわカるルつツすス...
 四 船フネ臺ダイ海ウミ小コ釣ツすス...
 五 舟フネ...
 六 舟フネ...
 七 舟フネ...
 八 舟フネ...
 九 舟フネ...
 十 舟フネ...
 十一 舟フネ...
 十二 舟フネ...
 十三 舟フネ...
 十四 舟フネ...
 十五 舟フネ...
 十六 舟フネ...
 十七 舟フネ...
 十八 舟フネ...
 十九 舟フネ...
 二十 舟フネ...

一 籠カゴ...
 二 籠カゴ...
 三 籠カゴ...
 四 籠カゴ...
 五 籠カゴ...
 六 籠カゴ...
 七 籠カゴ...
 八 籠カゴ...
 九 籠カゴ...
 十 籠カゴ...
 十一 籠カゴ...
 十二 籠カゴ...
 十三 籠カゴ...
 十四 籠カゴ...
 十五 籠カゴ...
 十六 籠カゴ...
 十七 籠カゴ...
 十八 籠カゴ...
 十九 籠カゴ...
 二十 籠カゴ...

十五

奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

六 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

七 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

八 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

九 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十一 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十二 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十三 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十四 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十五 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十六 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十七 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十八 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

十九 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十一 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十二 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十三 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十四 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十五 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十六 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十七 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十八 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

二十九 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

三十 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

三十一 奥吉故亦羅小舟 覆遺若人見而解披見

Handwritten text in cursive style, likely a title or introductory note.

高
面員神龜毛

玉梓

玉梓之使の言

玉梓の事なる不苦性公

玉梓の事なる不苦性の

玉梓の事なる不苦性の

扇

常之隠の夏冬性我素不致山住人

簾

玉掃前表鎌磨堂の樹と素本

始春のつれづれの言

香

香塗内塔の依川隈の屎野の痛女奴

尺

吾曉八尺之曉

杖不豆八尺乃嘆

杖

杖策し不衛し

杖衛し不衛し吾行

杖衛し不衛し吾行

十三 杖^{クラス}足^{アサカ}乃^ナ嘆^{ナキ} 在^在前^前

十四 布^フ毛^モ冬^{トウ}志^シ可^カ久^ク物^{モノ}

十五 行^{コウ}騰^{トウ} 行^行騰^騰總^總而^而具^具其^其公^公

十六 食^{シキ}薈^{ケイ}敷^{シキ}蓐^ソ菁^{セイ}者^者將^将来^来標^標行^行騰^騰總^總而^而具^具其^其公^公

十七 燈^{テウ} 燈^燈在^在雙^雙六^六ア^ア

十八 車^{クルマ} 車^車持^持還^還来^来

十九 每^ヘ 每^每舟^舟入^入る^る

二十 勢^{セイ}田^{テン}津^{ジン}小^コ船^{セン}舟^{フネ}舟^{フネ}廿^ニ月^{ツキ}持^チの^ノ燈^{テウ} 燈^燈在^在 堀^堀内^内

二十一 馬^{ウマ} 馬^馬毛^毛冬^冬志^志可^可久^久物^物

二十二 行^{コウ}騰^{トウ}

二十三 食^{シキ}薈^{ケイ}敷^{シキ}蓐^ソ菁^{セイ}者^者將^将来^来標^標行^行騰^騰總^總而^而具^具其^其公^公

二十四 鞍^{カン}

二十五 事^{コト}員^イの^ノ牛^{ウシ}之^シ念^{ネン}上^{ジョウ}之^シ瘡^{ソウ} 瘡^瘡在^在雙^雙六^六ア^ア

二十六 妹^{イモエ}新^ニ馬^{ウマ}新^ニ置^チ而^{シテ}射^シ駒^コ 駒^駒在^在雙^雙六^六ア^ア

二十七 事^{コト}員^イの^ノ牛^{ウシ}之^シ念^{ネン}上^{ジョウ}之^シ瘡^{ソウ} 瘡^瘡在^在雙^雙六^六ア^ア

二十八 燈^{テウ} 燈^燈在^在雙^雙六^六ア^ア

二十九 車^{クルマ} 車^車持^持還^還来^来

三十 每^ヘ 每^每舟^舟入^入る^る

三十一 勢^{セイ}田^{テン}津^{ジン}小^コ船^{セン}舟^{フネ}舟^{フネ}廿^ニ月^{ツキ}持^チの^ノ燈^{テウ} 燈^燈在^在 堀^堀内^内

三十二 馬^{ウマ}

三十三 行^{コウ}騰^{トウ}

三十四 食^{シキ}薈^{ケイ}敷^{シキ}蓐^ソ菁^{セイ}者^者將^将来^来標^標行^行騰^騰總^總而^而具^具其^其公^公

三十五 鞍^{カン}

三十六 事^{コト}員^イの^ノ牛^{ウシ}之^シ念^{ネン}上^{ジョウ}之^シ瘡^{ソウ} 瘡^瘡在^在雙^雙六^六ア^ア

三十七 妹^{イモエ}新^ニ馬^{ウマ}新^ニ置^チ而^{シテ}射^シ駒^コ 駒^駒在^在雙^雙六^六ア^ア

三十八 事^{コト}員^イの^ノ牛^{ウシ}之^シ念^{ネン}上^{ジョウ}之^シ瘡^{ソウ} 瘡^瘡在^在雙^雙六^六ア^ア

三十九 燈^{テウ} 燈^燈在^在雙^雙六^六ア^ア

四十 車^{クルマ} 車^車持^持還^還来^来

四十一 每^ヘ 每^每舟^舟入^入る^る

四十二 勢^{セイ}田^{テン}津^{ジン}小^コ船^{セン}舟^{フネ}舟^{フネ}廿^ニ月^{ツキ}持^チの^ノ燈^{テウ} 燈^燈在^在 堀^堀内^内

一 船流而長方
 二 船流而吾撈果
 三 船流而吾撈果
 四 船流而吾撈果
 五 船流而吾撈果
 六 船流而吾撈果
 七 船流而吾撈果
 八 船流而吾撈果
 九 船流而吾撈果
 十 船流而吾撈果
 十一 船流而吾撈果
 十二 船流而吾撈果
 十三 船流而吾撈果
 十四 船流而吾撈果
 十五 船流而吾撈果
 十六 船流而吾撈果
 十七 船流而吾撈果
 十八 船流而吾撈果
 十九 船流而吾撈果
 二十 船流而吾撈果

三トモヒノ明大ノ入向撈果
 二 船流而吾撈果
 一 船流而吾撈果
 二 船流而吾撈果
 三 船流而吾撈果
 四 船流而吾撈果
 五 船流而吾撈果
 六 船流而吾撈果
 七 船流而吾撈果
 八 船流而吾撈果
 九 船流而吾撈果
 十 船流而吾撈果
 十一 船流而吾撈果
 十二 船流而吾撈果
 十三 船流而吾撈果
 十四 船流而吾撈果
 十五 船流而吾撈果
 十六 船流而吾撈果
 十七 船流而吾撈果
 十八 船流而吾撈果
 十九 船流而吾撈果
 二十 船流而吾撈果

六三ノト
如眉雲居小初見阿波の山慈而榜舟泊不知也

七
天海の雲之波立月船星之林小榜隈不見

七
喜日在三笠乃山小月船出

七
年急市方堰干小きし知多乃浦に相榜舟奥に依不見

七
藻列舟奥榜来りし鳥鳴形見し浦に鶴翔一不見

七
磯立奥邊とて海原舟海人榜舟と鴨翔不見

七
吾舟の奥のうらまへ舟行清き浦に榜舟のし

七
この底にうらまへ舟と影邊とて風之鳴ぬ波不立而

七
風早く之徳乃浦廻り榜舟之船人動浪立りし

九
水門入小船うらまへ

十
天漢夜舟とて浪のぬらむのり夜舟易すのり

十
秋風之清夕天漢舟榜度月人壯子

十
君舟今榜ありし天漢霧立度州川

十
天漢川聲清く奉年也秋榜船に浪のぬらむ

十
天漢の瀬霧合男星之時待船今渡良く

十
天何浪の年と吾舟の率渡出夜のうらまへ

十一
味録之堀津とて水手船の各りしてわらわらむ

十二
うらまへ能野舟津とて熱き心は月とて

十四
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十四
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十四
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十五
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十五
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十五
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十五
うらまへをわらわらむ布衣のうらまへを

十五 大船之念馬 君之長子 將之直相
 十六 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十七 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十八 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十九 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十一 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十二 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十三 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十四 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十五 大船之思馬 君之長子 將之直相

一 大船之念馬 君之長子 將之直相
 二 大船之思馬 君之長子 將之直相
 三 大船之思馬 君之長子 將之直相
 四 大船之思馬 君之長子 將之直相
 五 大船之思馬 君之長子 將之直相
 六 大船之思馬 君之長子 將之直相
 七 大船之思馬 君之長子 將之直相
 八 大船之思馬 君之長子 將之直相
 九 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十一 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十二 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十三 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十四 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十五 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十六 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十七 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十八 大船之思馬 君之長子 將之直相
 十九 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十一 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十二 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十三 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十四 大船之思馬 君之長子 將之直相
 二十五 大船之思馬 君之長子 將之直相

七 舟畫 フナツクシ 船の形を畫すこと
 八 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 九 大船の二舵 オモテ 船の二箇所の舵
 十 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十一 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十二 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十三 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十四 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十五 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十六 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十七 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十八 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 十九 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十一 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十二 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十三 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十四 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十五 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十六 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十七 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十八 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 二十九 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十一 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十二 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十三 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十四 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十五 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十六 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十七 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十八 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 三十九 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十一 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十二 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十三 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十四 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十五 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十六 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十七 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十八 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 四十九 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵
 五十 大船の真舵 オモテ 船の真中の舵

六 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 七 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 八 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 九 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十一 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十二 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十三 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十四 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十五 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十六 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十七 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十八 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 十九 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十一 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十二 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十三 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十四 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十五 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十六 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十七 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十八 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 二十九 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十一 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十二 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十三 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十四 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十五 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十六 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十七 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十八 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 三十九 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十一 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十二 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十三 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十四 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十五 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十六 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十七 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十八 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 四十九 櫻皮 オウゴン 櫻の皮
 五十 櫻皮 オウゴン 櫻の皮

十七日
 東風ありて船は北にすすむるに
 八日 船は北にすすむるに
 九日 船は北にすすむるに
 十日 船は北にすすむるに
 十一日 船は北にすすむるに
 十二日 船は北にすすむるに
 十三日 船は北にすすむるに
 十四日 船は北にすすむるに
 十五日 船は北にすすむるに
 十六日 船は北にすすむるに
 十七日 船は北にすすむるに
 十八日 船は北にすすむるに
 十九日 船は北にすすむるに
 二十日 船は北にすすむるに
 二十一日 船は北にすすむるに
 二十二日 船は北にすすむるに
 二十三日 船は北にすすむるに
 二十四日 船は北にすすむるに
 二十五日 船は北にすすむるに
 二十六日 船は北にすすむるに
 二十七日 船は北にすすむるに
 二十八日 船は北にすすむるに
 二十九日 船は北にすすむるに
 三十日 船は北にすすむるに
 三十一日 船は北にすすむるに
 三十二日 船は北にすすむるに
 三十三日 船は北にすすむるに
 三十四日 船は北にすすむるに
 三十五日 船は北にすすむるに
 三十六日 船は北にすすむるに
 三十七日 船は北にすすむるに
 三十八日 船は北にすすむるに
 三十九日 船は北にすすむるに
 四十日 船は北にすすむるに
 四十一日 船は北にすすむるに
 四十二日 船は北にすすむるに
 四十三日 船は北にすすむるに
 四十四日 船は北にすすむるに
 四十五日 船は北にすすむるに
 四十六日 船は北にすすむるに
 四十七日 船は北にすすむるに
 四十八日 船は北にすすむるに
 四十九日 船は北にすすむるに
 五十日 船は北にすすむるに
 五十一日 船は北にすすむるに
 五十二日 船は北にすすむるに
 五十三日 船は北にすすむるに
 五十四日 船は北にすすむるに
 五十五日 船は北にすすむるに
 五十六日 船は北にすすむるに
 五十七日 船は北にすすむるに
 五十八日 船は北にすすむるに
 五十九日 船は北にすすむるに
 六十日 船は北にすすむるに
 六十一日 船は北にすすむるに
 六十二日 船は北にすすむるに
 六十三日 船は北にすすむるに
 六十四日 船は北にすすむるに
 六十五日 船は北にすすむるに
 六十六日 船は北にすすむるに
 六十七日 船は北にすすむるに
 六十八日 船は北にすすむるに
 六十九日 船は北にすすむるに
 七十日 船は北にすすむるに
 七十一日 船は北にすすむるに
 七十二日 船は北にすすむるに
 七十三日 船は北にすすむるに
 七十四日 船は北にすすむるに
 七十五日 船は北にすすむるに
 七十六日 船は北にすすむるに
 七十七日 船は北にすすむるに
 七十八日 船は北にすすむるに
 七十九日 船は北にすすむるに
 八十日 船は北にすすむるに
 八十一日 船は北にすすむるに
 八十二日 船は北にすすむるに
 八十三日 船は北にすすむるに
 八十四日 船は北にすすむるに
 八十五日 船は北にすすむるに
 八十六日 船は北にすすむるに
 八十七日 船は北にすすむるに
 八十八日 船は北にすすむるに
 八十九日 船は北にすすむるに
 九十日 船は北にすすむるに
 九十一日 船は北にすすむるに
 九十二日 船は北にすすむるに
 九十三日 船は北にすすむるに
 九十四日 船は北にすすむるに
 九十五日 船は北にすすむるに
 九十六日 船は北にすすむるに
 九十七日 船は北にすすむるに
 九十八日 船は北にすすむるに
 九十九日 船は北にすすむるに
 百日 船は北にすすむるに

天漢舟出速為夜ふも船小
 天河遠くより来る船は小なり
 天河白波高き吾志は遠く
 渡守舟もいづれも夜再相見而後ハ不相也
 難波方水手出船之遠く別れはとて相見つ
 今替入いれりも布奈豆下りありけり
 大場乃神の小瀬ハ難波同船能く
 百船之泊傳しハ海相吉船純乃定而

四 舟人ハハクノコトヤ
一 舟人ハハクノコトヤ
二 舟人ハハクノコトヤ
三 舟人ハハクノコトヤ
四 舟人ハハクノコトヤ
五 舟人ハハクノコトヤ
六 舟人ハハクノコトヤ
七 舟人ハハクノコトヤ
八 舟人ハハクノコトヤ
九 舟人ハハクノコトヤ
十 舟人ハハクノコトヤ
十一 舟人ハハクノコトヤ
十二 舟人ハハクノコトヤ
十三 舟人ハハクノコトヤ
十四 舟人ハハクノコトヤ
十五 舟人ハハクノコトヤ
十六 舟人ハハクノコトヤ
十七 舟人ハハクノコトヤ
十八 舟人ハハクノコトヤ
十九 舟人ハハクノコトヤ
二十 舟人ハハクノコトヤ

五 舟人ハハクノコトヤ
六 舟人ハハクノコトヤ
七 舟人ハハクノコトヤ
八 舟人ハハクノコトヤ
九 舟人ハハクノコトヤ
十 舟人ハハクノコトヤ
十一 舟人ハハクノコトヤ
十二 舟人ハハクノコトヤ
十三 舟人ハハクノコトヤ
十四 舟人ハハクノコトヤ
十五 舟人ハハクノコトヤ
十六 舟人ハハクノコトヤ
十七 舟人ハハクノコトヤ
十八 舟人ハハクノコトヤ
十九 舟人ハハクノコトヤ
二十 舟人ハハクノコトヤ

一 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 二 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 三 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 四 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 五 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 六 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 七 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 八 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 九 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十一 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十二 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十三 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十四 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十五 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十六 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十七 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十八 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十九 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 二十 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*

一 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 二 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 三 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 四 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 五 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 六 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 七 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 八 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 九 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十一 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十二 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十三 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十四 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十五 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十六 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十七 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十八 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 十九 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*
 二十 船の座敷に敷く布 *Ships deck cloth*

玉穂之小舟も初
音隔有楸棹を而渡守舟将借方瀬使有侍之
泉河乃速瀬也
ハ乃瀬と云伏平と此の
此の伏平と云

奥津加伊痛勿波神寄邊津加伊痛莫波神寄
玉穂之真可伊も我も我も
此の真可伊も我も我も
わの更神もまら加伊ぬき
小舟つゝあ真可伊
此の真可伊も我も我も

大船よまのまぬき
此のまぬき

潮小舟帆も浪も
此の浪も
秋田も若手揺ら
此の若手揺ら

大船香所海極下何有人物不念有
此の人物不念有
名に海奥湯船重下藏公之事
此の重下藏公之事

任若乃清舟納之
此の清舟納之
山河を谷を伏る
此の谷を伏る

わがわが...
和涼
おれ
註人...
おれ

繩

二 拵地之長命平 色方

拵地之永命 色方

水清... 色方

雲云物... 色方

綱手... 色方

馬... 色方

萬葉... 色方

十三 東依繩法 色方

十六 牛... 色方

... 色方

繩

... 色方

... 色方

... 色方

... 色方

... 色方

... 色方

... 色方

... 色方

十五
天のいし五都紀波布力作の四和素し五都紀奈波布

右務十月新達會集録
有本縁人可尋有散人
緒 年ノ緒息ノ緒

二 持りつゝ任取く字川人
東人之行向送入行末緒
九 緒と漆緒は挽而結有
二 漆緒は成及者
六 漆の緒乃

草
吾皮ハ内相皮也 漆皮ハ素皮也

其皮とみらめし
樺皮也

六 樺皮 纏作流舟
自云カハ色ニイドリ名也



延德三年
部類

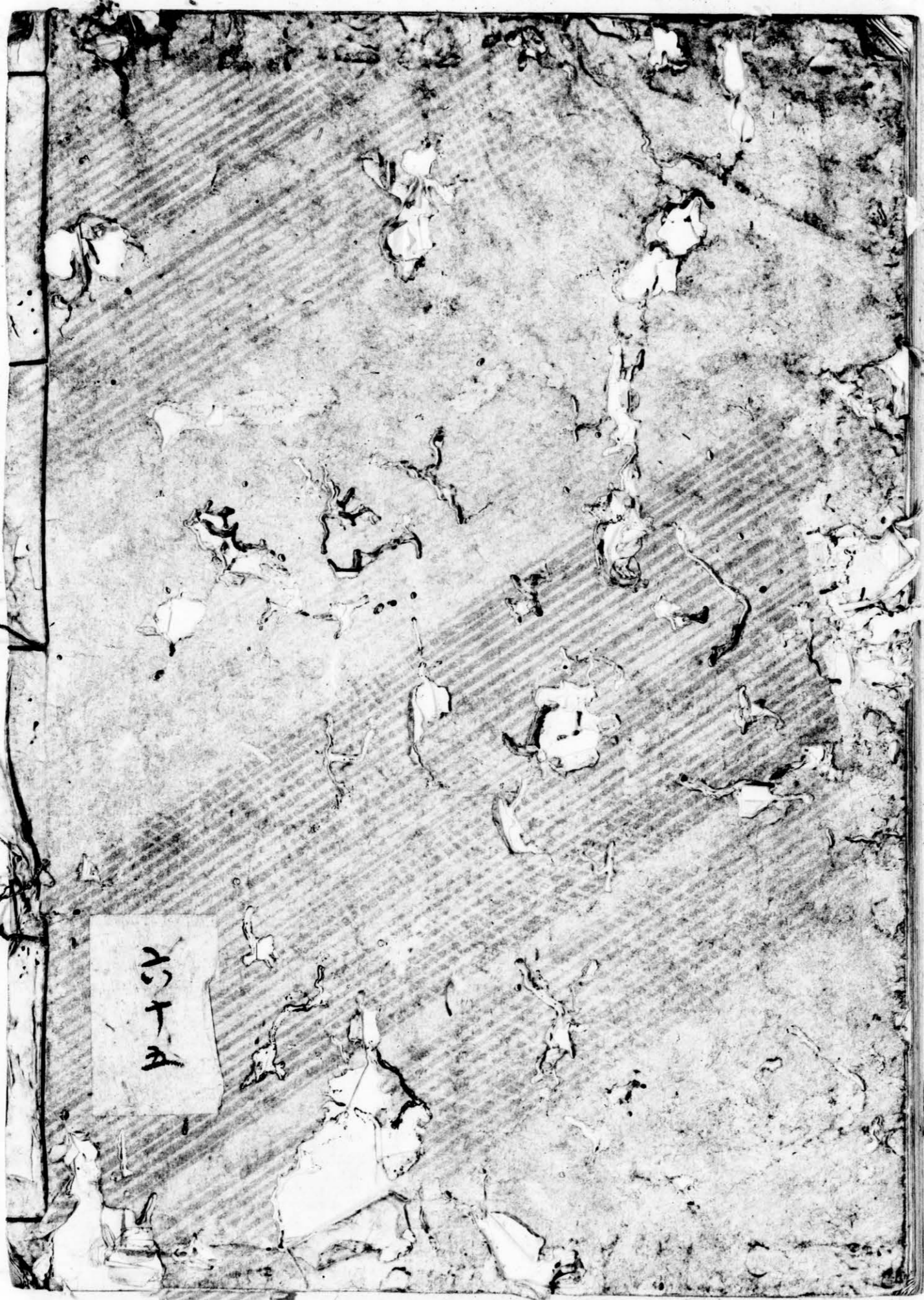
初命

權大納言藤原實胤

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

蘇州府志卷之四
雜錄
蘇州府志卷之四
雜錄

九州大學圖書館



257